

2

青森県基本計画
第2章

青森県の 2040年のめざす姿

2040年のめざす姿	35
めざす姿の実現に向けて	36

CONTENTS

第2章

青森県の2040年のめざす姿

時代の変化が激しい現代社会においては、その変化にスピード感を持って柔軟に対応するとともに、時代の潮流や今後の展望を踏まえた上で、本県の将来のあるべき姿を中長期的視点で描き、その姿を県民と共有しながら、実現に向けて取組を進めていく必要があります。

2040年には、県人口が100万人の万台を下回るとともに、老年人口比率が40%を超え、全国に先んじてピークを迎えるなど、本県における人口構造の重要な局面を迎えることとなります。

また、2040年は、現在のこどもたちが大人になり、進学や就職など、自身の将来に向けて人生の選択をする時期です。そこで、本計画においては、2040年における本県のあるべき姿をめざす姿として掲げ、そのための5年間の取組の方向性を示します。

人口減少の大きな要因は、若い世代の県外流出とこれに伴う少子化です。人口減少に伴う様々な課題を乗り越え、美しい自然や文化を背景とした豊かな暮らしなど、本県の有する価値を次の世代につないでいくためには、一人でも多くの若者が、青森県で人生を送ることに多様な可能性を見出し、「ここで暮らしたい」と思える魅力ある青森にしていけることが最も重要であり、支える若い世代が増えることで、高齢者もより一層安心して暮らすことができるようになります。

これらを踏まえ、本計画では、2040年のめざす姿を次のとおりとします。

2040年のめざす姿

「若者が、 未来を自由に描き、 実現できる社会」

この「めざす姿」が実現した2040年の青森県には、多様なしごとと安定した収入があり、誰もが将来への見通しを持って、希望する道を選ぶことができます。そして、一人ひとりの希望する生き方は、地域や世代を越えて尊重されています。また、こどもや若者が、生まれた場所や家庭環境等に左右されずに、学び、成長することができる環境があります。

県民は、自身と周りの人の健康を大切にしながら、災害や犯罪等に心身が脅かされることなく、地域で助け合い生き生きと暮らしています。日々の暮らしの中で県民は、四季折々の美しい自然からもたらされる恵みを享受するとともに、縄文文化が栄えたこの青森で脈々と培われてきた本県の歴史や文化、風土、伝統を大切にしながら、人生を楽しんでいます。

そして、青森県のヒト・モノ・価値は、国内外で高く評価され、県民はふるさとに誇りと愛着を持っています。



Aomori Prefectural Government Master Plan

“Chapter 2”

7つの政策テーマと政策・施策体系

7つの政策テーマと政策・施策体系設定に当たって

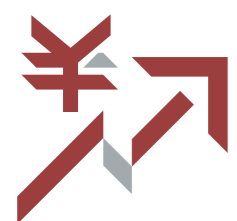
2040年のめざす姿を、県民が生活局面において重要視しているもの、本県にとって今後一層重要になるもの、更なる取組の推進が必要なものといった観点から、7つの政策テーマに分類し、これら7つの政策テーマに沿って、めざす姿を掲げ、政策・施策を設定しています。

将来を拓く鍵

めざす姿の実現に向け、今後5年間特に力を入れていく取組や、取組の方向性を明確にするために、各政策テーマそれぞれに「将来を拓く鍵」を設定しています。この「将来を拓く鍵」は、2040年に向けて特に重要で不可欠な、今後の方策を分かりやすく端的に表すキーワードであり、めざす姿につながる扉を開く、まさに「カギ」となるものです。

2040年のめざす姿

若者が、未来を自由に描き、 実現できる社会



しごと

【雇用、所得、産業】

所得向上と
経済成長

将来を拓く鍵 

政策
↓
施策



健康

【健康づくり、医療】

健康を支える
医療環境の向上と
共生社会の実現

将来を拓く鍵 

政策
↓
施策



こども

【子育て、教育】

こどもの
健やかな成長

将来を拓く鍵 

政策
↓
施策



環境

【脱炭素、エネルギー、
環境保全】

自然環境との
調和とその活用

将来を拓く鍵 

政策
↓
施策



交流

【観光、輸出、物流、交通】

国内外とつながる
交流・物流の拡大

将来を拓く鍵 

政策
↓
施策



地域社会

【生活基盤、地域づくり】

持続可能な
地域社会の形成

将来を拓く鍵 

政策
↓
施策



社会資本

【インフラ、防災】

安全で
利便性の高い
インフラの整備

将来を拓く鍵 

政策
↓
施策